

第218回教育研究評議会議事要録

1 日 時 令和3年5月21日（金）13:30～14:25

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 工学研究科と水産・環境科学総合研究科の横串コース設置案について

総合生産科学域長から、資料1-1～資料1-4に基づき、工学研究科と水産・環境科学総合研究科で検討している両研究科の博士前期課程を横断した横串コース（学位プログラム）の設置案について説明があり、審議の結果、異議なく了承された。

(2) 長崎大学大学院学則の一部改正について

理事（教学担当）から、資料2に基づき、医歯薬学総合研究科保健学専攻（修士課程）の入学定員を10名増員することに伴い、長崎大学大学院学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、異議なく了承された。

4 報告事項

(1) 情報データ科学部の大村市移転にかかる協議について

理事（財務・施設担当）から、資料3に基づき、本学と大村市は情報データ科学部の移転について昨年6月に覚書を締結し、以降正式な協議に移行してきたが、引き続き協議を継続しても合意に達することが見込まれないため、大村市との協議を終結したことについて報告があった。

(2) 教養教育科目「プラネタリーヘルス入門」教材の翻訳本の発行及び監訳協力者の選出について

学長特別補佐（プラネタリーヘルス担当）から、資料4に基づき、今年度より開講した教養教育科目「プラネタリーヘルス入門」について、来年度から「Planetary Health」（Samuel Myers, Howard Frumkin 著）を教科書として使用することを予定しており、現在、当該翻訳を出版社に依頼しているところであるが、その監訳を全10学部から選定した監訳協力者に依頼することについて、報告があった。

(3) 令和3年度授業実施について

理事（教学担当）から、資料5に基づき、5月24日（月）以降の授業の実施について、緊急事態制限区域及びまん延防止等重点措置区域に居住する非常勤講師に対して授業実施許可を出す場合は感染拡大状況を鑑み慎重に判断すること、また、不織布マスクの着用に関する注意事項、グループ・ペアワーク等がある場合の学生の収容人数を追記した対面授業の「実施の条件」を変更したことについて報告があり、各部局において周知いただきたい旨の依頼があった。

以上